

まちづくり座談会 2017



町は6月16日から28日までの期間、町内各地区で「まちづくり座談会」を開催しました。今回の座談会では、町からの話題として「住民票などの証明書コンビニ交付」や「東京都日野市との姉妹都市交流」、「旧庁舎敷地の活用」などについて説明。参加した延べ278人の皆さんからは、町からの話題に関するもののほかに、「災害時の対応」や「こどもの家の設置」など約140件のご意見・ご質問が寄せられました。

『紫波ネット』では、会場で出されたご意見やご質問および回答の一部を抜粋して紹介します。(内容が似ている質問は、回答を集約して掲載していますので、ご了承ください。)

皆さんからのご意見・ご質問

(●参加者発言 ○町からの回答)

6月16日(金) 午後7時～9時

JAいわて中央志和支所

◎参加者 22人

●旧紫波郡役所を活用・移築するにはお金がかかる。町指定文化財というのとは分かるが、お金の使い道や優先順位としてどうなのか。そこに財源を投入するよりも、道路の舗装を進めてほしい。(古館地区でも旧紫波郡役所に関する質問有り)

○旧紫波郡役所を曳家ひきか以外の方法で移築するのは、建築技術的に高度な技術が必要なほど古くなっています。文化財に指定した経緯は「後世に残すべきもの」であり、指定した段階でなんとかしても引き継ぐべきものというのが文化庁の考えです。指定した時点より更に古くなっているから残すべき物という考えもあり、指定解除の道は厳しいと思われる。町の問題なので、絶対に指定解除できないというわけではないですが、障害が多いのが実情です。

●有線放送廃止後の防災情報発信などの対策について聞きたい。(佐比内地区でも質問有り)



○有線放送廃止後の情報発信については、メールなどに加え、スマートフォンを利用した情報発信を検討しています。スマートフォンはプッシュ通知という通信方法が可能であり、「アラート」や「アラート」という緊急情報と連携しているものもあります。町内の火災情報の通知も可能です。高齢者用に、大きな画面のタブレットで押しと音声が出るという仕組みのものもあるので、そのようなソフトも可能性を検討しています。

6月17日(土) 午前10時～正午

古館ふれあいホール

◎参加者 32人

●古館駅前開発の進捗状況はどうなっているか。

○現在、古館駅前回転広場を設けて、利用者や送迎時などの利便性、安全性に寄与するように交通広場の整備をしたいと考えています。地権者や関係機関と協議し、協力の要請をしている段階ですが、まだ地権者からの返事はいただけていません。国道4号から古館駅入口までは県道になってるので、歩道を設置してもらうよう県に要請しています。

●**旧高文自動車学校跡地活用**の方向性について知りたい。

○先日、旧高文自動車学校で測量会社が測量をしているという情報がありました。測量会社によると、商業施設や空き地の分譲などで採算性がとれるかどうか、土地の測量調査をしている段階とのことでした。現在、具体的な計画は出ていませんが、事業化となれば施設への進入などの関係で、町へ申請や相談があると思われます。現地は、都市計画区域の用途指定区域となっているため、設置する施設や規模はある程度制限されます。町としては用途指定区域に沿った適切な指導をしていきます。

●**鉄道のアンダーパス**は豪雨時に強力なポンプで排水してほしい。

○町内には、県の管理が1箇所、町の管理が4箇所、計5箇所の鉄道アンダーパスがあります。町の管理施設にはそれぞれ排水ポンプを3台設置しており、水位に応じて強制排水する仕組みになっています。しかし雨が降ると雨水と一緒に落ち葉やごみが流れ込むことによって、集水桝のグレーチングが目詰まりを起こし、水槽内に雨水が流入しづらくなり、ポンプの能力を最大限に生かすことができない場合もあります。雨の降り方も変わってきており、施設の増強だけでは追いつかないため、発生頻度の高い降雨のときは施設で防御し、それを超える降雨の場合は人を配置してアンダーパスに入らないように交通規制を行うなどソフト対策で補うことを考えています。車両進入事故を防ぎ、人命を守ることを第一に対策を講じていきます。

●町は交通事情や土地面積に恵まれているので、若者を雇用する**企業誘致**が非常に大切だと思うが、どうなっているか。

○東京などを会場に県や盛岡広域共同でセミナーを開催しているほか、町内企業の関連会社を訪問、金融機関との情報交換など情報収集を行っています。また、北上川の築堤による事業所の移

転においても、町内での移転先の確保に協力し、交渉を行っています。

6月17日(土) 午後1時30分～3時30分
中央公民館
◎参加者 20人

●**旧庁舎の敷地活用**について、**スケジュール**を教えてください。また、改修をして活用する業者を募集するのか、現状で活用する事業者を募集するのか道筋を示してほしい。(志和・古館・日語・赤沢地区でも質問有り)

○現在、申し出をいただいた民間企業との対話を行っています。これから旧庁舎敷地活用検討委員会の開催と、住民の皆さんとの意見交換を行う予定です。旧紫波郡役所については、町指定文化財であることから慎重に議論すべき問題です。年度内に公募を実施したいと考えていますが、議論の進み具合によっては時期がずれる可能性もあります。

旧役場庁舎は耐震補強をしていなかったため、耐震補強の費用などを把握する基礎調査を行いました。結果、町が耐震補強をし、民間事業者が事業を行うための改修をするとなると金額的に難しいことが分かりました。現況も踏まえつつ、建物を使うかどうかも含めて民間から提案をもらいたいと

思っています。

●オガール地区のフットボールセンタールと紫波中央駅前駐車場の間の道路に**路上駐車**があり、**交通の妨げ**となっている。いくつか三角コーンが置いてあるが、空いている所に駐車している。交通量も多く危険なので、ゴム製の支柱のような物を道路沿いに置いてみてはどうか。駐車場が少ないので路上駐車が起きるのではないか。

○オガールエリア内の南北線の路上駐車対策として、ボラードの設置を検討しています。すぐにできる対応として三角コーンを置いていましたが、最近コーンを置く場所を南側に広げました。注意喚起を促すチラシを作成・配布するなど、警察署やオガール紫波(株)と協



議しながら取り組んでいきます。駐車場が少ない件については、事業者や関係各課と調整しながら利便性を高めるための検討を進めています。

●旧保健センターの中で、**旧健康管理センター**が残る形になったが町の建物を**空き家**にしておくのはおかしいのではないか。地域に開放するなどして活用できないか。

○旧健康管理センターは漏水や下水の臭いがひどく、耐震にも問題があります。リノベーションするとなるとかなりの費用がかかるので、将来的には取り壊して、駐車場として利用することを検討しています。

6月19日(月) 午後7時～9時
赤石公民館 ◎参加者 40人

●**コミュニティバス「すこやか号」**の運行について、「**錠口まで来てもらえない**」という声を聞く。あのバスの大きさでは錠口に行けない。乗客も高齢化し、すこやか号の利用者は年々減っている。時刻表を変えても乗れない人がいるということを知ってほしい。(長岡・赤沢地区でも質問有り)

○すこやか号について、他市町村の取り組みなどを勉強しながらサービス内容を

の改定を進めていきます。現在のバスではきめ細やかなニーズに応えられないことは把握しており、タクシー事業者などとも話しながらさまざまな方法を検討していきます。

●紫波一中から希望ヶ丘線南側のコンビニまで約500mの間に**街路灯**が3つしかない。中学生が不安になっていることや、声を掛けてくる不審者などの話が聞こえてくる。犯罪を防止するために**早急に検討**してほしい。(古館・赤沢地区でも街路灯に関する質問有り)

○町の制度上、街路灯の中でも暗いところに付ける防犯灯は地域の皆さんで設置・管理をしていただいています。町は防犯灯に要する電気料金を負担し



ているほか、維持管理について一定額を超えた額の2分の1を地元へ補助金として交付しています。皆さんで積み立てをして防犯灯を設置しているところもありますが、多くは東北電力からの寄贈灯を利用しています。寄贈される数に限りがあり、優先順位を付けなければならぬため、担当者が場所を確認し、土木課だけではなく教育委員会なども交えて協議し、設置場所を選定しています。

●町には**遺跡や史跡**がたくさんあるが、それらを**収納**するところがない。また、紫波町には博物館や民俗資料館のようなものがない。

○埋蔵文化財の保管庫については、以前からご意見をいただき検討してきました。現在、分散している文化財を旧中央保育所で集約して保管・公表するよう進めています。また、先人記念館についても併せて検討していきます。

6月20日(火) 午後7時～9時
佐比内公民館 ◎参加者 59人

●なぜ佐比内だけ**光回線**が入らなかったのか。町内他地区は光回線の要望があった整備されたのか、それともインターネットの普及によるものか。(日詰・彦部

地区でも光回線に関する質問有り)

○町内で町が公衆用の光回線を整備したところはありません。佐比内地区だけが光回線が入っていない理由は、市場性の問題と理解しています。674局の局舎までの光回線がないことも、要望してもなかなか整備が進まない要因だと考えられます。補助金で自治体が整備する方法もあります。しかし局舎と佐比内地区内の幹線は自治体が整備できますが、バックボーンといわれる回線と自治体が整備した幹線から各戸への回線はNTTが整備しなければならぬという決まりがあります。市場性の問題でできないから自治体で整備するという補助金制度ですが、NTTが参画する条件として、地域内の5割以上の利用加入確約が必要となります。

●**自転車のロードレース大会**開催に伴い、農家に対して休業補償をしなければならないのではないのか。補償をしないのであれば、**農家につなげるような町づくり**を行うべき。今はロードレースのために佐比内地区に訪れた人たちを産直に誘導していない。

○佐比内地区の方々には自転車のロードレースにおいて、さまざまな部分で大変お世話になり、ご理解もいただけてきました。佐比内地区でロードレースを



町でも具体的に考えてほしい。(赤沢地区でも質問有り)

○こどもの家については、東部地区でそれぞれ要望があります。利用者10人以上かつ地域運営が見込まれ、こどもの家を設置する場所と施設長や運営スタッフが決まればスピード感を持って話が進むと思います。今後の学校のあり方という大きな枠の中でも考える必要があるため、方向性を定めつつ早急に取り組むべき問題だと認識しています。改めてこども課を軸に話を伺っていきます。

●**農業の担い手**が不足しているが、町はどのように考えているか。

○国の就農給付金制度を活用して後継者育成に取り組んでいます。若い後継者が少なく人数的に及ばない状況です。町は、若く志のある方々のグループ化や法人組織化を支援して、職業として農業に携わっていただけるような法人化研修に取り組んでいきたいと考えています。

6月22日(木) 午後7時～9時
長岡公民館 ◎参加者 28人

●数年前から、町に対して**いごもの家(学童)**を設置してほしいと要望しているが、話が実現しない。学童がないから引越した人がいるという話も聞く。

の減量をしていかなければならない。今後、教育委員会で子どもたちに対する**資源リサイクルや分別の方法についての教育**を考えていただき、各小中学校に示してほしい。

○ごみの分別や健康の大切さなど、大人まで使うことを若い時期に身に付けることは大事であり、学校教育の責任としても取り組まなくてはならないと考えています。また、地域と大人と親が学校で学んだことを理解して、行い続ける姿勢を合わせていないといけません。子どもが地域や親と一緒に、ごみ減量や廃品回収を理解して行い続けることがもう一つの視点です。学校教育については、スタートなので校長会などで話していきたいと思えます。

●**町道の舗装**が請願採択になったので、できるだけ早く進めてほしい。

○ここ数年、町の道路整備が進んでおらず、請願採択のうち未実施の路線は110路線を超えています。舗装工事の優先度は採択の順番ではなく、現地の状況や通学路といった側面などから順番を決めています。最近橋などの老朽化対策や雨水対策、通学路の整備を優先せざるを得ず、道路改良や舗装が進まない状況ですが、優先度の高い路線を見極めて整備をしていきます。

6月27日(火) 午後7時～9時
赤沢公民館 ◎参加者 27人

●**市民活動保険**には**団体登録**が必要なのか。**地区民運動会**などでは**スポーツ保険**に加入しているが、市民活動保険からも支払われるのか。(白詰・赤石・長岡・水分・赤沢地区でも市民活動保険に関する質問有り)

○一般的なボランティア保険であれば事前の登録が必要になりますが、この保険は事前登録は必要ありません。事故が起きた後、事故報告書とともに団体の規約や目的、活動内容、スケジュールなどを提出していただきます。保険の要件を満たすかどうか町で一度審査し、その後保険会社に提出します。

傷害事故の場合は、それぞれの保険の基準でそれぞれの支払い限度額まで支払われます。賠償責任事故の場合は、例えば賠償責任額が1000万円であり、すでに自分で加入している保険の限度額が500万円の場合、市民活動保険からは残りの500万円の支払いが可能です。なお、傷害事故の対象者は地区民運動会においてボランティアで活動している役員・スタッフなどで、選手は対象になりません。

●人口減少が進む中、東部地区の**小中学校の統合**について、町はどのように考えているか。(彦部地区でも質問有り)

○一昨年、民生児童委員や保育所・児童館の保護者、公募委員など15人ほどの委員で構成される学校教育審議会を立ち上げました。そこでどういう力を子どもたちがつけていけば良いか、実現のためにどうすれば良いか議論しています。9月ごろ答申が出る予定で、9月以降は町の責任でどうするべきか検討していきます。来年度早々に皆さんのご意見をいただきながら、一定の方向性を定めていきたいと考えています。

6月28日(水) 午後7時～9時
彦部公民館 ◎参加者 32人

●証明書のコンビニ交付に伴い、役場の**自動交付機**はなくなるのか。

○役場の自動交付機は12月で撤去します。それ以降は窓口での交付か、住民基本台帳カードやマイナンバーカードを使いコンビニの端末で交付を受けることとなります。

●町に**農地転用の許可権限**が移ったようだが、東部地区で宅地造成する場合、制度が適用になるか。また町の企業誘

致がスムーズにできるか。(日詰地区でも質問有り)

○法律や国の制度が変わったわけではないので、町が事務委譲を受けても判断基準は変わりません。これまでは県が会議を開いて決定していましたが、町は地元の状況をわかっているのだから、これまでより迅速に判断することができると思いますが、転用がしやすくなるというわけではありません。



●国道4号沿いのホームマック周辺に右折レーンを設置予定と聞いたが、進捗状況はどうか。**日詰駅前周辺に駐車場**は出来るのか。

○国道4号から日詰駅に向かう県道については、平成24年の通学路の緊急点検で対策が必要な箇所と位置付けられ、県では北側に2・5mの歩道を整備することで用地調査を終了し、本年度用地補償に入る予定とのことです。国が

実施する国道4号北日詰入口交差点改良にあわせて、町もホームマック側に右折レーンを設置予定で、詳細設計を終えています。国の交差点改良の工事とあわせて着手する予定ですが、国では用地補償の段階なので、まだ工事の時期が示されていません。また、日詰駅前周辺に駐車場を整備する計画はあり

ません。

会議録は、後日ホームページに掲載するほか、各地区公民館や図書館に設置する予定です。

■担当 企画課 協働広報室

☎(072)21111

内線2322

8月24日に発生した大雨による町の被害状況などをお知らせします (9月8日時点)

1. 被害状況

- 人的被害 なし
- 物的被害
 - ・床上浸水 3件 (赤石2、志和1)
 - ・床下浸水 4件 (赤石2、彦部2)
- 農林被害
 - ・農作物冠水被害 約110ヘクタール
 - ・林道被害 路面洗掘多数、法面崩落1カ所

2. 雨量

降り始めからの降水量

稲藤	水分	赤石	赤沢	佐比内
107.50mm	112.50mm	113.50mm	103.50mm	79.50mm

3. 河川の状況

●北上川 紫波橋

- ・8月25日 午前9時 紫波橋の氾濫危険水位 (4.50m) に到達
- ・8月25日 午前9時30分 紫波橋の最高水位4.56mを記録



紫波橋の様子 (8月25日 午前9時40分撮影)